

執筆者紹介

おおやね じゅん 大矢根 淳	本学人間科学部教授 (2016 年度本研究所事務局長)	いしかわ かずお 石川 和男	本学商学部教授
しまだ りゅう 島田 龍	(公財)九州経済調査協会	はらだ ひろお 原田 博夫	本学経済学部教授
うい せいぜん 魏 聖銓	本研究所客員研究員	たかばし ゆうきち 高橋 祐吉	本学経済学部教授
まちだ としひこ 町田 俊彦	本研究所研究参与	いいで けんいち 飯田 謙一	本研究所研究参与
しばた ひろとし 柴田 弘捷	本研究所研究参与	むらかみ しげすけ 村上 俊介	本学経済学部教授 (2016 年度本研究所所長)

〈編集後記〉

専大社研月報 No.649・650 をお届けします。2016 年度春季実態調査 (2017 年 3 月) 報告です。一昨年度の春季実態調査 (2016 年 3 月) では 4-5 世紀の古墳時代の遺産を百舌鳥・古市古墳群を実踏し、当時の東アジアに思いを馳せることができましたが、今回は海を渡って朝鮮半島南部の古代遺跡 (鳳凰台)、対馬の山城跡金田城 (かなたのき) を見分することによって朝鮮半島、対馬から日本の律令国家形成へのインパクトを肌で感じ、考えることができました。

「百舌鳥・古市古墳群」の時代は 4 世紀後半から 5 世紀末葉までの中期に相当し、東アジア情勢は中国が南北朝に分裂し、周辺国が例えば朝鮮半島では高句麗が北朝に、百済が南朝に朝貢しながら、鮮卑に侵攻された高句麗はその失地の代わりを求め百済に侵攻し、倭国も海を渡って百済に応援に出兵するという切迫した事態から首長連合の拠点が大和から河内・和泉に移り、その後統一をはたした唐と新羅の連合軍に白村江の戦い (663 年) で惨敗し、唐新羅の侵攻を怖れ、朝鮮式山城を百済の工人の指導でつくったと土生田所員から教わりました。この史跡を見て、当時の朝廷と百済工人の恐怖に満ちた本気度が実感され、天智朝の下で難波から近江京に遷都 (667 年) し、律令体制の構築が急がれたのもよくわかりました。この 2 年間の実態調査で古代においても東アジアの激変が国内の体制づくりに大きくかかわっていたことが理解できました。

では今はどうでしょう。3 月 15 日に昌原市商工会議所を訪問し、Koo Kyong-Ryul 氏にレクチャーを受けた際、昌原市の貿易収支の悪化がアベノミクスの金融緩和に大きく規定されたものであったことが理解できました。アベノミクスと連動した黒田日銀の異次元緩和が円安に、したがって為替切り下げ競争となったことが韓国に来て実感されたわけです。昨年 6 月の G7 を前にルー米財務長官が「『通貨安競争の回避を再確認する』とし、日本にクギを刺す」(日本経済新聞 2016 年 5 月 16 日) 前に、異次元緩和が為替切り下げ競争となり、それが「隣人窮乏化効果」をもたらす懸念に配慮すべきであったと韓国に来て、過去の歴史にも学びつつ考えられた次第です。(宮寄)

2017 年 8 月 20 日発行

〒214-8580

神奈川県川崎市多摩区東三田 2 丁目 1 番 1 号 電話 (044)911-1089

専修大学社会科学研究所

The Institute for Social Science, Senshu University, Tokyo/Kawasaki, Japan

(発行者) 宮 寄 晃 臣

製 作 佐藤印刷株式会社

東京都渋谷区神宮前 2-10-2 電話 (03)3404-2561
